

# 造作工事の改善

クレーム防止・手戻り作業防止・  
安全の確保への取り組み

横浜真栄会 仕上部会  
株式会社 タチバナ

# 1.テーマ設定の背景

- ①施工方法を改善し、クレームの発生を防止する。
- ②作業環境を改善し、手戻り作業を防止する。
- ③工具を開発し、技能工の安全確保と生産性の向上を図る。

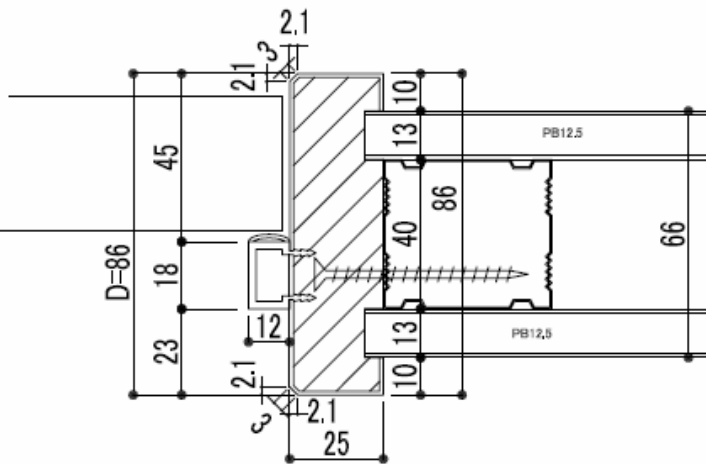
# ①クレームの防止(施工方法の改善)

- 開戸枠開口部角スタッド内に木を入れて枠を固定する。



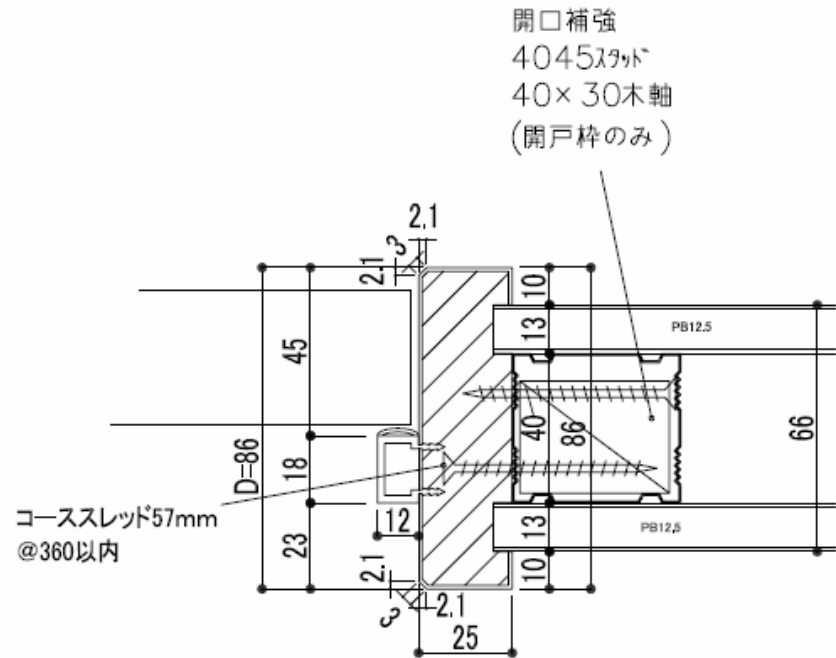
- 間仕切と枠材の保持力向上で、枠のぐらつき等のクレームが出ない。
- 枠廻りのクロスの際間、しわ等が出ない。

# 詳細図



他社での施工例

0.45mmの鉄板にビスが掛かっているだけなので、木製建具丁番の枠をねじる力により、緩んでくる可能性が高い。



弊社での施工例

木軸にビスが効き、スタッドを挟み込んで固定する為、木製建具丁番の枠をねじる力が掛かっても緩みが出ない。

## ②手戻り作業の防止 (作業環境の改善)

- 平面詳細図に於いて、自社施工に関連性の無いものを消去し、文字を拡大して現場内でも見やすく、縮尺も可能な限り大きくして、間違いの起こらないように有効寸法は下地で表示する。



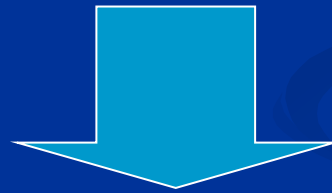
- 作業員の勘違いや、イライラが解消し作業効率が良く、品質の良いものができる。
- 手戻り作業が激減した。





# ③技能工の安全確保と生産性の向上 (工具の開発)

- LGSのランナーは高速カッターで切断しようとする、ブレが出て、切断砥石の破損につながり、重大災害が起こる危険がある。
- 粉塵・騒音・火花が出る。
- 切断面にバリが出て、手を切る危険がある。
- ある程度の長さのあるものでないと切断できない

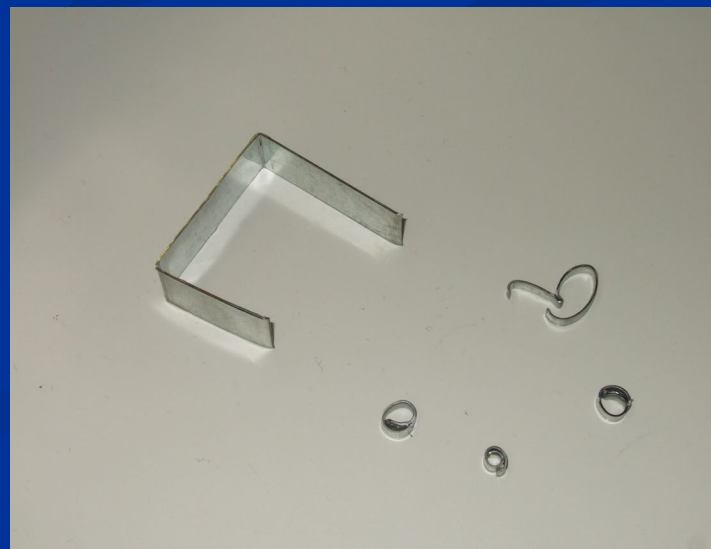
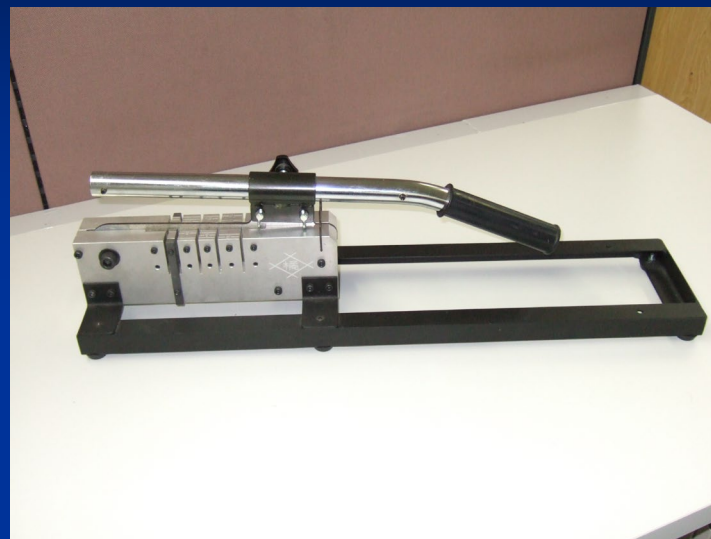


- ランナーカッターを開発することにより、切断砥石を使用せず、粉塵・騒音・バリを解消し、技能工の安全を確保した。
- また、配線の必要も無く、短い長さのカットも容易な為、生産性の向上につながった。



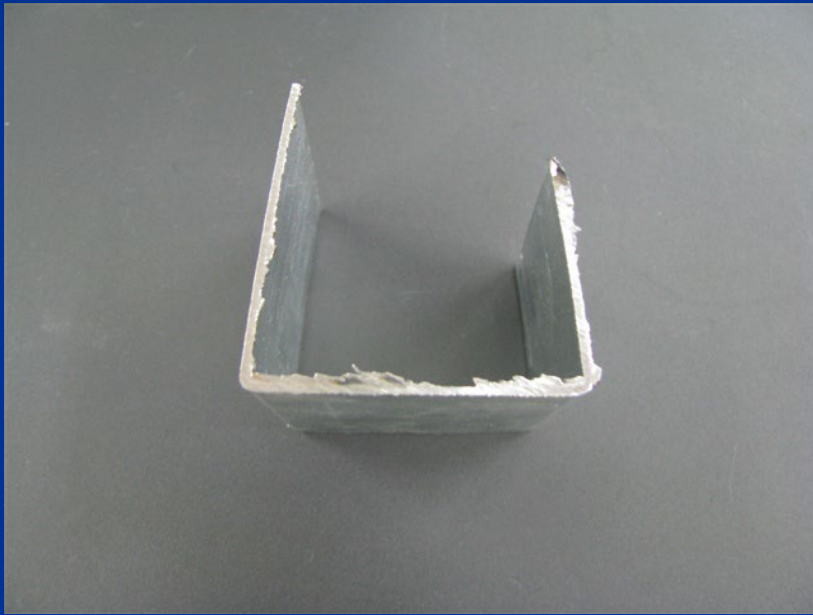
弊社ではランナーカッターを使用している為、高速カッターによる災害は出ておりません。

- 押し切りの為、バリが出ず、切りくずも危険の無い様丸まる様に作っております。



# ランナー一切断面の比較

- 高速カッター切断



- ランナーカッター切断

